



十一月五日夕刊

以獨立州提議

米國はフニメを獨立州たらしむ可しとの新提議を為せり

履行監督機關

フツシユ元帥の提議

田中顧問の演説

米國に對する演説

英増稅案否決

オムスク政府撤退

露貨拒絶と不穩

傳家句桃花の恐慌

斬正式組閣通過

新閣正式内閣組織は四日參議院を通過せり

米支借款と抗議

米支借款に對する抗議

王代表和議樂觀

使者徐總統に密輸交附

廣東憲法會議

廣東憲法會議の進行

來年度豫算概要

歳計約十二億五千萬圓

豫算概要：來年度の豫算は、歳入が約十二億五千萬圓、歳出が約十二億五千萬圓と見込まれる。主要な歳入項目は、税金、公債、国庫金等であり、歳出項目は、国防、教育、保健、行政等である。

眞に軍人の好典型

寺内元帥

京城金融商況

金融商況の概況

逐鹿形勢

京城商議院選

英國を巡る

英國の政治情勢

東京金融近況

東京金融の動向

銃砲火藥規則

銃砲火藥の管理規則

田中博士逝去

田中博士の訃報

劉公使著奉

劉公使の著書

新線開業

永興成興開業

預金貸出増加

京城貸附

飛行準備

飛行機の準備状況

話閑財

財政に関する閑話

其の日

その日の出来事

久保局長訓示

久保局長の訓示

露貨換算變更

露貨換算の變更

鮮銀創立十周年

鮮銀創立十周年の記念式典

人事消息

人事に関する消息

流行の冬衣

丸登織物會社

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

流行の冬衣

丸登織物會社

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

流行の冬衣

丸登織物會社

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

流行の冬衣

丸登織物會社

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

丸登織物會社

丸登織物會社の紹介

新宗教を宣す (三)

ける薬はないと告げられた時に
は、是れ里邊處（さへんぢう）にして又親の心（おやのこころ）

局の前途殆ど暗黒にして捕捉

にて同院の通過も疑ひなかる

『本説？、合夜？、嘘ぢや』

て(一)徐大總統と段祺瑞の握

「だけき要さん、要さんは好

部分的和議締結の如きも其

のくにツちになつて、みんなにかたくなでせう、だから云は


直ちに支那政局を樂觀し難き

午後三時頃、菊枝が學校

軍政府改組を可決

る事いそくしてゐる。
午後九時過ぎ井上は來た。

●セメント瓦豫約
特許セメント瓦京城、釜山、元山、共本年
中ノ製品全部豫約済
來春ノ御需用ハ今ヨリ豫約願上候
京城明治町
電話九三七番
特許セメント瓦製造株式會社




飛ぶように賣れる
本毛ラシヤ防寒靴
本品は弊店の特製品として工に其の類を見ざる美且つ堅牢なり。雪上、氷上、泥濘地等色ラシヤ皮で縫製し底は厚く滑り止めの文を特許して通達中。
第一等品一足金貳圓四拾五錢
但し小口縫製靴申出受候
振東京田圃東福馬場
振東京大丸九八
米山萬治郎商店

改造

本邦製圖家養成録 最新式通信教
創始者 大なる勤國家
に達成す詳細規則無代進呈す 東京南馬場町 東北通信工学校

破打	現狀	活生	認公	組合	勸勞
組合	蛇態ケ澤	生存の破壊	矛盾せる内相	世を誤る誤譯資本論	榮養價值政策
組合	大地の涯	今日	昨日	今日	明日
組合	危機	改	造	改	造

編輯者 青柳榮司
印刷所 東京市神田區西門外二丁目三番地 三義社
發行所 東京市神田區西門外二丁目三番地 三義社



アカシア石鹸
ACACIA SOAP
優良化粧用

醬油値上廣告

謹啓向來の御各位益々御清榮の段平慶賀候陳者其後引續き原料の騰貴は底止する處を知らず加ふるに容器工賃等又暴騰を告げ不得已拾壹月五日より左記之通り値上實行仕候間何卒倍舊御引立の程奉懇願候

一大樽 六升詰 四圓五十錢上げ
一小樽 九升詰 壹圓參拾錢上げ

- 京城醬油醸造組合
- 仁川醬油醸造組合
- 大山醬油醸造組合
- 群山醬油醸造組合
- 平壤醬油醸造組合
- 鎮南浦醬油醸造組合
- 大邱醬油醸造組合
- 大塚醬油醸造組合
- 水原醬油合資會社
- 荒卷醬油醸造場

永登浦
水原
江景

[illegible]

集れ」と先づ一日は命じた。
女傭仕は解かに引下つた。
水上には未だ其方を尋ねてゐる
る。然うして、
「幸く眠てゐる。妹、かも知れ
ないが……姉よりも此は品が
一つ申しますと答へた。

向つ柳柳やうら哀しきよ
 中村 清露(京城)
 面影にまみぬし事は無けれど
 き身返さしと聞てかなし
 かなしみの手向の歌な作りつつ
 りと世の君しの上秋の夜

照慶、家計な
 物を満載せり(女
 婦女界社)
 能楽壽報(十三
 京麴町飯田町三
 生殖器病獨瘡
 女の生殖器病を
 易に治癒する
 東京芝草平町三

金(子) 同金 同銀 同七二兩
 同桂 同歩 子 同 一兩
 六三三 七五七 同銀 一
 同角 五四四 (以下次號)
 滑川木六段 許計
 同金 同銀 同七二兩
 同桂 同歩 子 同 一兩
 六三三 七五七 同銀 一
 同角 五四四 (以下次號)
 滑川木六段 許計
 同金 同銀 同七二兩
 同桂 同歩 子 同 一兩
 六三三 七五七 同銀 一
 同角 五四四 (以下次號)
 滑川木六段 許計

[illegible]

發賣元

○

東京市日本橋區橋町四丁目
登 錄 商 標
丸見屋商店
○

新嘉坡坡底門牌七十七號
○



仁川	印船	大君	秀禎	赤心	赤城	赤木
海客	有代	有代	有代	有代	有代	有代
岸御	斷	斷	斷	斷	斷	斷
行	△	△	△	△	△	△
高杉	目	月	月	月	月	月
回	電	二	日	日	日	日
酒	話	後	後	後	後	後
	五	四	四	四	四	四
	九	時	時	時	時	時

[illegible]